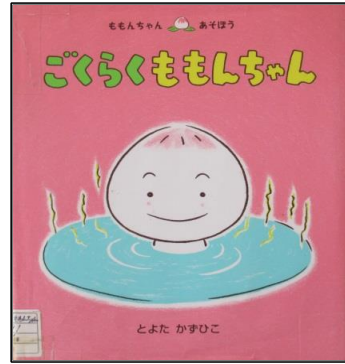




# おすすめ絵本



## 『ごくらくももんちゃん』

とよた かずひこ/さく・え 童心社

だんだんと寒さがきびしくなり、お風呂が気持ちよい季節ですね。ももんちゃんが、お風呂に入っていると金魚やさぼてん、おばけも入り「あーごくらくごくらく」と言うのです。ももんちゃんが「あーごくらくごくらく」と言うのはいつでしょうか。

## 『サンタさんだよかえるくん』

塩田 守男・え さくら ともこ・ぶん PHP研究所

トナカイの引くソリから池に落ちてしまったサンタさん。みつけたのは冬眠中のカエルのお家でした。だんろの火を燃やして体をあたためていると、良い気持ちになっていねむりを始めました。部屋が暖かくなって春かと思ったカエルたちは目を覚まして、そこにいたサンタさんにびっくり！サンタとカエルたちのゆかいなお話です。

## 子どもの五感を刺激する

### 伝統行事を体験しよう



冬至は1年で一番昼が短く、夜が長い日のこと。

冬至には「ゆず湯」（五感の「ふれる」「かぐ」を刺激する）を行います。

ゆず湯には血行をよくする働きがあるほか、ゆずと融通をかけた語呂合わせから、融通が利きますようにという願いも込められています。

## 0～3歳児の絵本とのかかわり方



0歳

絵本を物として扱うところからスタート。シンプルな絵でリズムのある言葉を繰り返し読むうちに言葉と絵が合うことに気付く。大人の視線に合わせて絵を目で追うようになる。

1歳

食べ物や動物、乗り物など身近なものが出てくる絵本を通して、現実のものとのつながりに気付く。食べ物が出てくると食べるまねをするなど、行動と結び付けて楽しむようになる。



2歳

絵本の言葉のおもしろさに気付く。繰り返し読み聞かせるうちに言葉を覚え、生活の中の同じような場面をつぶやいたり友だちと一緒にその言葉を唱えたりするようになる。



3歳

物語絵本も聞いて楽しめるようになる。絵本に出てくる物語の世界を遊びに取り入れたり、登場人物になりきって、ごっこ遊びをしたりする。